

# 植物の元気を引き出す ファイトシリーズ

葉に刺激!

## ファイト・オーツ

天然成分配合  
酵母由来のアミノ酸  
キトサンオリゴ糖  
植物の体内バランスを整える

通常使用 1000倍散布 ■1リットル入り

### 抵抗力を高める4つの成分

- 水溶性マンガン
- 水溶性ホウ素
- 酵母由来のアミノ酸
- キトサンオリゴ糖

- 葉が立つ、葉がしまる
- 葉の未消化窒素の分解
- ビタミンなどの栄養価向上
- 転流促進(糖度アップ)
- 毛細根の充実



O2散布で、生長点にびっしりと毛の生えたトマト。抵抗力が引き出された証です。



徒長や過繁茂の抑制に

## 果実(花)、毛細根を しっかり充実!!

7~10日間隔で数回の施用が効果的

【水稻育苗など】

- 健苗育成「ずんぐり苗」に

【定植時】

- 植え傷み防止に

【農薬散布時に】

- 樹勢低下防止に

【植物全般】

- 生理障害回避に
- 糖度やビタミンなどの栄養価向上に
- 秀品率の向上に
- 葉を立たせ、光合成能力の向上に

安心・安全の「天然成分」が植物本来の抵抗力を最大限に引き出します。

着目したのは  
“植物本来の力”

植物は、激しい温度変化や乾燥、光環境の変化、病気や虫の傷害に適応して生きています。このような環境ストレスに対し、植物は、長い年月をかけて多くの防御システムを兼ね備えてきました。その植物本来の抵抗力を最大限に引き出すことを目的とした商品がファイトシリーズです。

### 引き出す成分① マンガン(Mn),ホウ素(B)の効果

- Mn
  - B
  - 光合成の活性化
  - ビタミンCの生成
  - 酵素の活性化
  - 細根の維持、花粉の充実
  - 全身抵抗性の誘導
- など

### 引き出す成分② 酵母由来のアミノ酸と、キトサンオリゴ糖が葉を刺激し活力アップ

ファイトで体質改善

1

軟弱に育った植物は、ストレス変化に鈍感。ちょっとした環境変化にもすぐやられてしまう。



2

ファイト・オーツを散布すると?

植物細胞がストレスを認知



3

ビタミンなど様々な栄養素を自家生産

抵抗力アップ!



体内の栄養価がアップしストレスに対して強くなる



## ファイト・オーツ PHYTO O2

肥料登録取得 **安心**

●栽培こよみには、肥料として記載できます。

内容成分開示 **安全**

- 肥料としての有効成分  
水溶性マンガン0.1%  
水溶性ホウ素0.2%
- その他の成分  
天然酵母エキス、キトサンオリゴ糖

適用作物

- 作物全般 特に果菜類、葉菜類

作用

- 4つの天然成分が植物に直接働きかけ、植物本来の力を活性化、植物ホルモンや抵抗力誘導物質の発生を促します。さらにオリゴ糖を配合したことで、有効成分の植物体内への吸収力がアップ。葉中糖度も向上します。



散布タイプ

【肥料登録品】

肥料の種類：液体微量要素複合肥料  
登録番号：生第83241号

使用法

- 葉面散布(1000倍)  
定植時のどぶづけ(1000倍)  
ホルモン剤との混用使用  
(200~1000倍)

効果的な使い方

- 晴れた日の朝に散布
- 浸透性の展着剤との混用
- 7~10日おきの定期散布

混用

- 農業、液肥との混用は可能です。

PHYTO SERIES  
ファイト・シリーズ

植物に活力を与えたいとき  
ファイトシリーズがおすすです！

**PHYTO CAL**  
ファイト・カル  
カルシウム吸収！  
生第83188号 散布タイプ

**PHYTO MET**  
ファイト・メット  
根に働く！  
生第84050号 灌水タイプ

**Ele-Max**  
エレマックス 0-28-26  
開花・結実を充実！  
輸第9423号 散布タイプ

**Ele-Max**  
エレマックス 4-30-20  
樹勢バランス良く！  
輸第9424号 散布タイプ

### ファイト・オーツ の使用法

	作物	目的	散布濃度(倍)	散布時期	使用回数(回)	カルの混用
育苗時期	水稲	徒長・ムレ苗防止、田植え後の活着	500	1-1.5葉期/2.5葉期/田植え直前	2-3	◎
	トマト・ピーマン	低段位の花芽の保護・充実、活着改善	1000	1.5葉期から定植まで	3-4	◎
	イチゴ	ランナーの充実、未消化窒素の分解	1000	親株定植後/子株移植後	2-3	◎
	メロン	徒長防止、毛細根の充実	1000	本葉1.5葉期ごろから	2-3	◎
	キク	活着改善、毛細根(不定根)の充実	1000	さし芽時に発根促進剤に混用(数秒間)	1	×
	葉菜類	徒長防止、植え傷み防止	1000	本葉展開後から定植まで	2-3	◎
	キュウリ・スイカ	接木時の活着、植え傷み防止	1000	接木2~3日前/接木活着後	2-3	◎
	ナス	接木時の活着(子葉脱落予防)、植え傷み防止	1000	接木後から	2-3	◎
	タマネギ・ネギ	健苗育成、徒長防止	1000	本葉2~3枚展開時、定植1~3日前	2	◎
本圃	トマト	着果不良、奇形果対策、成り疲れ予防	1000	定植後から	3-5	◎
		空洞果対策	200	単花処理時のホルモン剤に混用	花房に1	×
	イチゴ	活着改善、成り疲れ予防、軟弱果対策	1000	定植~マルチ掛けまで/収穫開始後	各3	◎
	メロン	着果の安定、整枝後の樹勢回復、糖度アップ	1000	定植から交配前後まで	2-3	◎
	キク	花首を太く安定	1000	わい化促進剤使用時に混用	随時	×
		やなぎ芽防止	1000	2度切り後のジベレリン処理時に混用	1	×
	小豆・豆類	花落ちを防ぐ(さや付き向上)、転流促進	1000	着蕾期/開花初期/開花期以後7-10日おき	3-5	◎
	葉菜類(結球野菜)	外葉の充実、結球促進、しおれ防止	1000	定植時のどぶづけ/定植後から結球初期まで	3	◎
	葉菜類(非結球野菜)	外葉(初期生育)の充実、徒長防止	1000	定植時のどぶづけ/本葉5-6枚展開時(その10日後)	3	◎
	キュウリ	曲がり果の軽減、側枝の充実	1000	定植から主枝ピンチまで	3-4	◎
	ナス・ピーマン	花芽の充実(落花防止)、肥大の向上	1000	定植後10日おき/整枝後	3-4	◎
	スイカ	着果の安定、整枝後の樹勢回復、しおれ防止	1000	定植後10日おき/整枝後	3-4	◎
	タマネギ	玉揃いを良くする、転流促進	1000	肥大初期、肥大最盛期/倒伏期	3	◎
	バレイショ	玉揃いを良くする、転流促進	1000	肥大初期~肥大最盛期(北海道:着蕾~開花期)	3	◎
	根菜類	肥大の向上、転流促進	1000	肥大初期~肥大最盛期(ニンジン:播種60日後~10日おき)	3	◎
ブドウ	花ぶるい防止、粒張りの向上、脱粒防止	1000	展葉6-7枚頃、開花前、肥大期~着色期	3-5	◎	
ナシ	肥大の向上、糖度アップ	1000	肥大初期から	2-3	◎	
花卉類	花芽の保護、葉の厚みの向上、毛細根充実	1000	定植・鉢上げ後/2度切り後/消灯後などのストレスがかかる時期	各1-2	◎	

※上記以外の作物についても使用できます。効果的な使い方については下記までお問い合わせ下さい。